

都政レポート

2017年秋号

ホームページでも情報発信中! <http://otokitashun.com>



音喜多駿(おときたしゅん)

1983年9月21日北区王子本町生まれ。
いなり幼稚園、北区立王子第二小学校卒の生粋の北区民。海城中学・高校、
早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、外資系企業で7年間のビジネス経験を経て、
現在、東京都議会議員二期目(無所属)。所属会派「かがやけ Tokyo」では幹事長を務める。

2017年秋号もくじ

新会派「かがやけ Tokyo」を再結成

「真の都民ファースト」実現に向けて

子ども受動喫煙から守る条例が可決

まだ道半ば、さらなる議会改革を!

豊洲市場見学会バリアフリー化を提言

都民ファーストの会 東京都議団を離れ、新会派「かがやけ TOKYO」を再結成

10月5日 都議会第三回定例会の終了後、上田令子都議とともに**都民ファーストの会 東京都議団に離会派届を提出**いたしました。都民ファーストの会 東京都議団の発足メンバーとして活動し、前期では幹事長まで務めた組織を離れるのは苦渋の決断であり、また皆さまの期待を裏切ることになったと思います。誠に申し訳ありません。しかしながら、都民の皆さまにお約束をした政策を実現するためには、この決断は正しいものだと思いますし、信頼は今後の行動で取り返して行きたいと考えています。

「情報公開が一丁目一番地」として誕生した都民ファーストの会 東京都議団ですが、とりわけ55人という大所帯になってから、**十分な情報公開と民主的な意思決定が行われない機能不全な状態**に陥ってしまいました。役員人事や政調会のメンバーは、一部の幹部により見えないうところで決定され、都民の皆さまの原資である政務活動費の使途も明確ではありません。さらに所属議員には言論統制が敷かれ、メディアやSNSで自由に発信できないというルールまでありました。これでは**私たちがかつて批判をしてきた、「ブラックボックス」そのもの**ではないでしょうか。

また、小池知事に対峙する姿勢にも問題があります。豊洲市場移転

問題やオリンピック・パラリンピックなどの課題が山積する中で、小池百合子知事は国政進出を志向し、自ら国政政党・希望の党の代表に就任してしまいました。「都知事に専念する」という地域政党・都民ファーストの会の代表を7月初旬に辞任されたばかりなのに、**これでは「都政投げ出し」との批判を免れることはできません**。都民ファーストの会 東京都議団は残念ながら、**臨時議会・第三回定例会を通じて「知事のイエスマン」とも言える状態**になっており、こうした小池知事の姿勢に対して No を突きつけることができません。

私と上田都議の両名は、こうした状態の組織をなんとか中から改善すべく、会議のたびに強く発言をし、申入書を提出するなどの活動を行ってきました。しかしながら力及ばず、議員の権限である文書質問や資料要求まで禁止されるという事態に直面し、皆さまとお約束した政策を実現するためには外部で活動すべきだと判断し、離党という重い決断をいたしました。



▲新会派の理念を発表

「真の都民ファースト」実現に向けて、情報公開と議会改革に取り組む!

新たな会派の指針

- ✓「東京大改革」のさらなる推進
- ✓都議会の情報公開を徹底
- ✓自由闊達なコミュニケーションと政務体制

新に立ち上がった会派「かがやけ Tokyo」でも、都民の皆さまにお示した「東京大改革」に連なる政策の実現を目指すことは変わりません。既得権益のために使われていた予算を削減し、子育て支援や教育など、将来世代のために大胆な投資が行われることを目指します。そして、まだまだ閉鎖的な都議会においてネット中継や秘密会議の公開を促進するなど、さらなる情報公開を実現します。何より、今後も自由闊達な環境で私自身の積極的な情報発信を強化して参りますので、HP や各種 SNS などにもご注目いただければ幸いです。



「子どもを受動喫煙から守る条例」が、都議会の本会議で可決!

第三回定例会では、都民ファーストの会 東京都議団と都議会公明党が共同提案した「子どもを受動喫煙から守る条例」が、都議会自民党を除く会派による賛成で可決されました。これは家庭内や自家用車などを含め、子どもがいる空間では受動喫煙の被害を防ぐため禁煙を促す「努力義務」を定める啓発条例です。

「家庭の中まで入ってきて、権利を侵害するのか!」という声もありますが、児童虐待をする家庭に児童相談所や警察が入ることを、権利の侵害とは誰も言わないでしょう。子どもたち(特に乳幼児)は、自ら意思を示すことができず、タバコの煙から逃げることもできません。吸う場所を選べる権利と能力があるのは大人たちだけであって、それは時に子どもたちの権利を明白に侵害します。今回の啓発条例の制定により、こうした意識が都民の間で醸成されることが期待されます。

2020年五輪を控えて、受動喫煙を防ぐ取り組みを一層加速していく必要があります。今回のこの議員提出条例案とは別に、次回以降の定例会では都内の飲食店を原則禁煙とする罰則付きの受動喫煙防止条例も、知事提出されることが予定されています。これは国際基準からしたら、常識とも言える条例内容です。一方で不足している屋外喫煙所の整備なども、同時に実行しなければなりません。都民ファーストの会 東京都議団は離れましたが、本件については一層の改善提案をしながら、共に推し進めて参ります。

議員公用車の廃止、政務活動費の飲食禁止はまだ道半ば…さらなる議会改革を!



会の理念として大きく掲げてきた「議会改革」については、「議会改革検討委員会」という新たな会議体が発足し、都議会の中で精力的な議論が進められています。都民ファーストの会 東京都議団は、「都議選後 100 日以内に議員公用車の廃止、政務活動費の飲食禁止などの議会改革を実行する」と宣言していましたが、10月上旬現在、残念ながら道半ばで実現まで辿り着くことはできませんでした。私自身の力不足でもあり、この点は率直にお詫びを申し上げます。誠に申し訳ありません。都民ファーストの会 東京都議団が最大会派になったとはいえ、

単独で議会の過半数を占めているわけではなく、こうした議会改革の推進には様々な利害調整が必要になります。それを強力に推し進めて行くのは、やはり世論の力です。議会や委員会のネット中継の実現、IT 機器の導入によって大幅なペーパーレス化を図っていくなど、すぐにでもできることは沢山あります。次回の議会改革検討委員会は、10月末以降に予定されています。ぜひともこうした議会改革の行方に今後ご注目いただき、皆さまから厳しいご意見を都政に届けていただきたいと思います。思います。

臨時議会にて、豊洲市場見学会のバリアフリー化を提言

8月に行われた臨時議会では、豊洲市場移転に関する補正予算が審議され、私は経済港湾委員会の委員として質疑に立ちました。

豊洲市場への風評被害対策として積極的に行われている見学会においては、これまで車椅子などの特別な支援を必要とする方の参加はお断りしているなど、その受け入れ体制が不十分でした。

今回、その点を委員会質疑で指摘し、現在は特別な支援が必要な方には、一般参加者と異なるルートが特設されるなど、見学会におけるバリアフリー対応が実現されています。



▲臨時議会に経済港湾委員として質疑に立つ

Twitter <http://twitter.com/otokita/> facebook <https://www.facebook.com/otokitashun> LINE http://line.me/ti/p/@otokita_togi ブログ <http://otokitashun.com/blog/>

都政のこと、北区のこと… どんな小さなことでもかまいません。皆さまの声をお寄せください!

お問い合わせは… mail@otokitashun.com

各種ご連絡先

おときた駿事務所
〒114-0034 東京都北区上十条 2-25-14
Tel/Fax 03-3908-3121

公式QRコードへ!

